

パネルディスカッション①
職場でのコミュニケーションの
課題について考える
イントロダクション

伊藤 丈人 障害者職業総合センター研究部門

背景

- 職場における情報のやり取りについて、障害に起因する課題を抱える者は多い
- 職場で共有される情報には、業務に関するフォーマルなものだけでなく、直接には業務に関わらないかもしれないが職業生活に不可欠なインフォーマルなものも含まれる

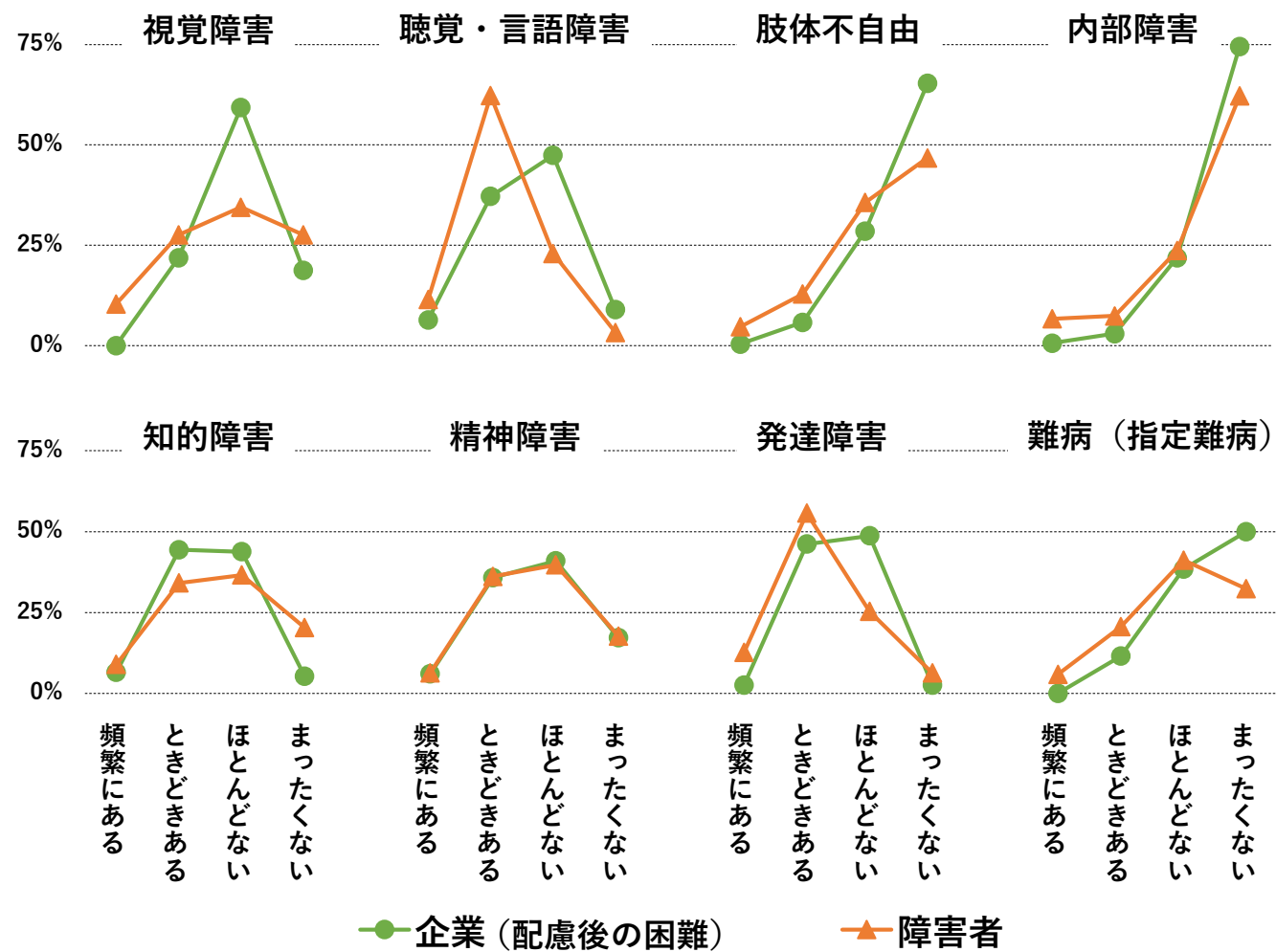
(業界の動向、関連分野のニュース、施設や人事に関わる情報など)

- インフォーマルな情報のやり取りにアクセスできないこと、それらのやり取りに参加できないことは、障害者にとって疎外感に繋がるなどの悪影響があると考えられる

業務指示の伝達・把握に関する企業と障害者の困難の頻度の認識

● フォーマルなコミュニケーション
に関する困難の頻度（比較）

- 【肢体不自由/ 内部障害/ 難病】
 - 困難の頻度は企業・障害者ともに低い
- 【知的/ 精神障害】
 - 企業・障害者ともに一定程度困難を感じている
- 【視覚/ 聴覚・言語/ 発達障害】
 - 企業と障害者の認識にかい離
 - 障害者の方が企業より困難を感じる頻度が多い



業務指示以外に障害者が感じる情報伝達の際の困難

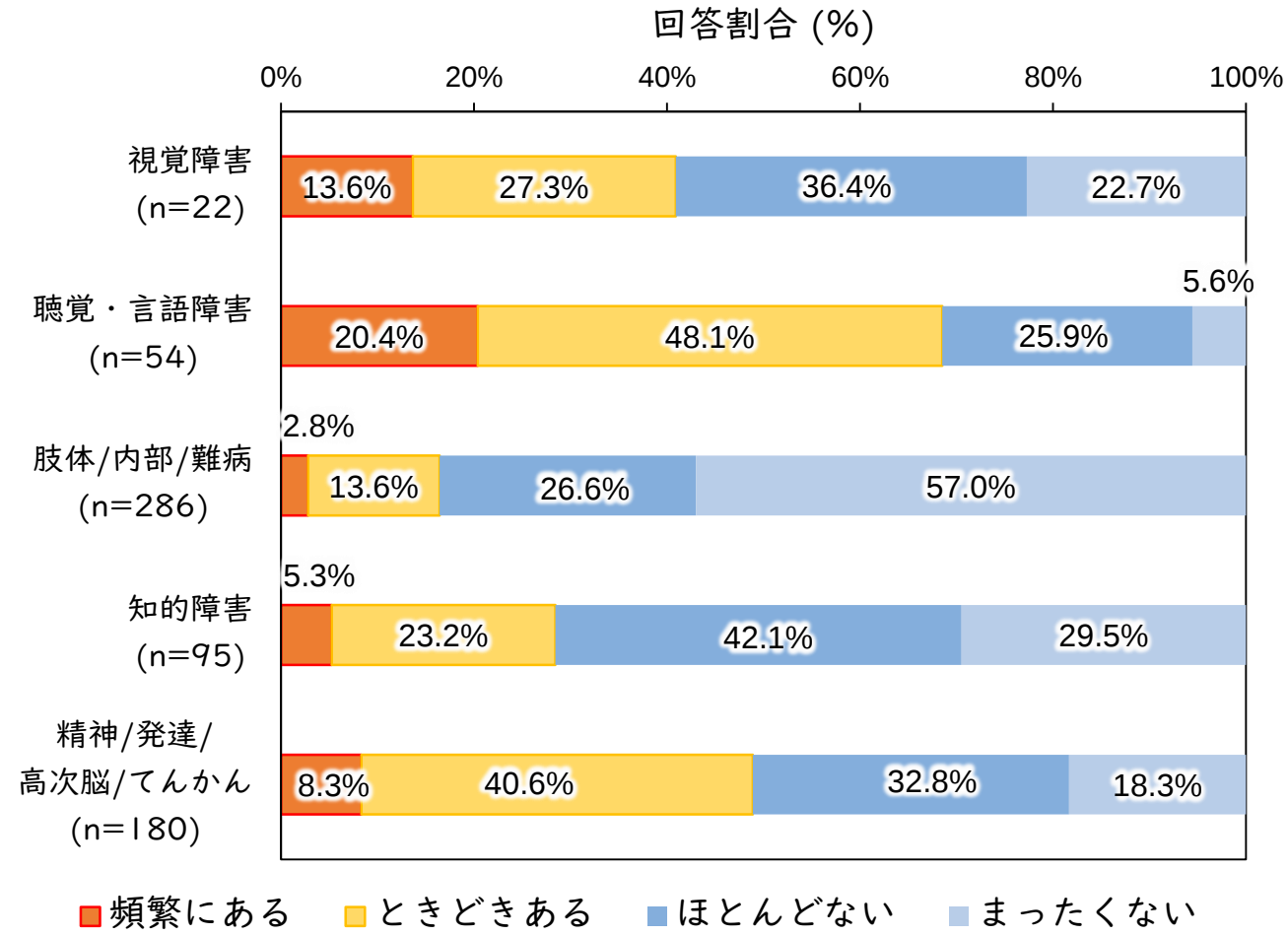
● インフォーマルなコミュニケーション
に関する困難の頻度（障害者）

□ 「頻繁にある」と回答した割合：

- ・ 聴覚・言語障害（20.4 %）
- ・ 視覚障害（13.6 %）
- ・ 精神・発達障害等（8.3 %）

□ 「頻繁にある/ときどきある」の割合
の合計：

- ・ 聴覚・言語障害（68.5 %）
- ・ 精神・発達障害等（48.9 %）
- ・ 視覚障害（40.9 %）



目的

- 本パネルディスカッションでは、障害者が情報のやり取りについてどのような課題に直面し、どのような配慮を必要としているのかを改めて確認するとともに、課題解消に向けた取組事例を共有いただく
- 出勤して働く場合、テレワークで働く場合など、それぞれの状況に応じた適切なコミュニケーションのあり方について、改めて考え直す機会としたい

パネルディスカッション参加者

- 外谷 渉 様

株式会社ラック サイバーセキュリティプラットフォーム開発統括部 開発部
第三グループ グループマネジャー

- 辻 敏彦 様

阪和ビジネスパートナーズ株式会社 業務開拓推進部長

- 平賀 正樹 様

みずほビジネス・チャレンジド株式会社 企画部 職場定着支援チーム
定着支援コーディネーター

- 岡 耕平 様

学校法人大阪滋慶学園 滋慶医療科学大学大学院 教授